

報告書〔2〕 分析結果及びフローシート

2 亜硝酸性窒素

分析実施機関名	整理番号	*	*	*	国際的な認証の取得	1. ISO 9001 2. ISO 9002 3. ISO 9003 4. ISO 14001 5. なし
分析主担当者名		*	分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(検体数)	検体

注1) 分析結果 (mg/l)	標準偏差 (mg/l)	測定回数 (回)

注1) 亜硝酸性窒素の濃度として示す。亜硝酸イオンからの換算方法は、実施要領の参考方法の2.を参照する。
なお、2回以上の測定を行った場合は、平均値を記入する。

分析開始日	月	日
分析終了日	月	日

<ナフチルフェニルアミン吸光度法>

試料
↓
ろ過
↓
ろ液の適量 ㉔
↓ 4-アミノフェニルスルホンアミド 溶液1ml
放置 約5分間
↓ 二塩化N-1-ナフチルフェニルアミン溶液 1ml
放置 約20分間
↓
吸光度測定 ㉕㉖

ろ過

<分析法等>

分析法	1. ナフチルフェニルアミン吸光度法 2. イオンクロマトグラフ法 3. その他()
測定波長	㉗()nm
試料量	㉘()ml

<イオンクロマトグラフ法>

試料
↓
ろ過 ㉙
↓
ろ液の適量㉚
↓
(試料の希釈) ㉛㉜
↓
イオンクロマトグラフへの注入 ㉝
↓
定量 ㉞

<イオンクロマトグラフ法>

試料のろ過	㉙ 1. 行う 2. 行わない
試料の希釈 希釈した場合	㉛ 1. 行う 2. 行わない 希釈倍率㉜()倍
イオンクロマトグラフへの注入量	㉝()μl
装置 型式 メーカー名	㉞ 1. サンプルレス型 2. ノンサンプルレス型 ()
カラム 型式 メーカー名	() ()

(注) クロマトグラムには、ベースラインを引いてください。

<検量線の作成>

検量線	作成点数㉟() 濃度範囲㊱()~㊲()μg(注入量) ㊱単位 1. μg又はng(注入量) 2. mg/l(濃度) 最高濃度の指示値㊳() 空試験値(指示値)㊴()
試料の指示値	指示値㊵()

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点

前処理について	-----
測定方法について	-----